介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 解説(設問の意図)

問 1	あなたのご家	で族や生活状況について			
No.	設問内容	選択肢	設問の意図		
(1)	家族構成をお教え	1.1人暮らし	この設問は、家族構成を問う設問で		
	ください	2. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳	す。高齢者の世帯状況やその地域分		
		以上)	布を把握すること、世帯構成別の回		
		3. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳	答結果を把握することで、事業の対		
		以下)	象者・対象地域・実施内容の検討の		
		4. 息子・娘との2世帯	際に活用することが可能になりま		
		5. その他	す(孫を含む3世帯の場合は「その		
			他」にしてください)。		
(2)	あなたは、普段の	1. 介護・介助は必要ない	この設問は、主観的な介護の必要度		
	生活でどなたかの	2. 何らかの介護・介助は必要だ	を問う設問です。要介護状態になる		
	介護・介助が必要	が、現在は受けていない	前の高齢者の介護の必要度を把握		
	ですか	3. 現在、何らかの介護を受けてい	することで、事業の対象者・対象地		
		る(介護認定を受けずに家族	域・実施内容の検討の際に活用する		
		などの介護を受けている場合	ことが可能になります。		
(0)	@ ! /@\ != ! \\	も含む)			
(2)	①【(2) において	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	この設問は、介護・介助が必要にな		
	「1. 介護・介助は必	2. 心臓病	った原因を問う設問です。要介護状		
	要ない」以外の方の セスト	3. がん (悪性新生物)	態になる前の高齢者の介護・介助が		
	み】	4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	必要になった原因を把握すること		
	介護・介助が必要に なった主な原因は	5. 関節の病気 (リウマチ等)	により、地域課題(要介護状態にな		
	なった主な原凶は	6. 認知症(アルツハイマー病等)7. パーキンソン病	る原因)の把握が可能になります。		
	なんじゅか (いく) でも)	7. ハーヤンノン _柄 8. 糖尿病			
	(6 6)	9. 腎疾患(透析)			
		10. 視覚・聴覚障害			
		11. 骨折・転倒			
		12. 脊椎損傷			
		13. 高齢による衰弱			
		14. その他()			
		15. 不明			
(2)	②【(2) において		この設問は、介助者の詳細を問う設		
	「3. 現在、何らかの		問です。要介護状態になる前の高齢		
	介護を受けている」	3. 娘	者の介護・介助の実態を把握するこ		
	の方のみ】	4. 子の配偶者	とにより、地域課題(家族介護の実		
	主にどなたの介護・	5. 孫	態)の把握が可能になります。		
	介助を受けていま	6. 兄弟・姉妹			
	すか (いくつでも)	7. 介護サービスのヘルパー			
		8. その他()			

(3)	現在の暮らしの状 況を経済的にみて どう感じています か	 大変苦しい やや苦しい ふつう ややゆとりがある 大変ゆとりがある 	この設問は、主観的な経済状態を問う設問です。高齢者の経済状態やその地域分布を把握すること、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能
			になります。
(4)	お住まいは一戸建	1. 持家(一戸建て)	この設問は、住宅の形態を問う設問
	て、または集合住宅	2. 持家(集合住宅)	です。地域の高齢者の住まい (サー
	のどちらですか	3. 公営賃貸住宅	ビス付き高齢者向け住宅など)のニ
		4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	ーズ把握・サービス整備の検討の際
		5. 民間賃貸住宅(集合住宅)	に活用することが可能になります。
		6. 借家	なお、選択肢4.5.と6.につい
		7. その他	て、一般的な賃貸借契約がある場合
			は4.5.の民間賃貸住宅を選択し、
			インフォーマルな賃貸借は借間も
			含めて6.の借家を選択してくださ
			V,

問2 からだを動かすことについて	らだを動かすことについて
------------------	--------------

No.	設問内容	選択肢		設問の意図
(1)	階段を手す	1. できるし、している	この設問は、運	_
	りや壁をつ	2. できるけどしていない	動器の機能低下	
	たわらずに	3. できない	を問う設問です	
	昇っていま		(この設問で 3	
	すか		問以上、該当す	
(2)	椅子に座っ	1. できるし、している	る選択肢(表の	_
	た状態から	2. できるけどしていない	網掛け箇所)が	
	何もつかま	3. できない	回答された場合	
	らずに立ち		は、運動器機能	
	上がってい		の低下している	
	ますか		高齢者になりま	
(3)	15 分位続け	1. できるし、している	す)。運動器の機	_
	て歩いてい	2. できるけどしていない	能が低下してい	
	ますか	3. できない	る高齢者の地域	
(4)	過去 1 年間	1. 何度もある	分布を把握する	この設問は、転倒リスクを問
	に転んだ経	2.1度ある	ことで、事業の	う設問です((4)で「1.何
	験がありま	3. ない	対象者・対象地	度もある」「2.1度ある」に
	すか		域・実施内容の	該当する選択肢が回答され
(5)	転倒に対す	1. とても不安である	検討の際に活用	た場合は、転倒リスクのある
	る不安は大	2. やや不安である	することが可能	高齢者になります)。転倒リ
	きいですか	3. あまり不安でない	になります。	スクのある高齢者の地域分
		4. 不安でない		布を把握することで、事業の
				対象者・対象地域・実施内容
				の検討の際に活用すること
				が可能になります。
(6)	週に 1 回以	1. ほとんど外出しない	この設問は、閉じ	じこもり傾向を問う設問です
	上は外出し	2. 週1回	((6)で「1. ほ	ほとんど外出しない」「2.週1
	ていますか	3. 週 2~4 回	回」に該当する選打	択肢が回答された場合は、閉じ
		4. 週5回以上	1	高齢者になります)。閉じこも
(7)	昨年と比べ	1. とても減っている	り傾向のある高齢者の地域分布を把握すること	
	て外出の回	2. 減っている	で、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の	
	数が減って	3. あまり減っていない	際に活用すること	が可能になります。
	いますか	4. 減っていない		
(8)	外出を控え	1. はい		を控えている場合の原因を問
	ていますか	2. いいえ	う設問です。閉じ	こもり傾向のある高齢者の原

(8)	①【(8) で	1. 病気	因を把握することにより、地域課題(閉じこもり
	「1. はい」	2. 障害(脳卒中の後遺症	傾向のある高齢者に不足している対策)の把握
	(外出を控え	など)	が可能になります。
	ている)	3. 足腰などの痛み	
	の方のみ】	4. トイレの心配(失禁な	
	外出を控えて	ど)	
	いる理由は、	5. 耳の障害(聞こえの問	
	次のどれです	題など)	
	か	6. 目の障害	
	(いくつで	7. 外での楽しみがない	
	も)	8. 経済的に出られない	
		9. 交通手段がない	
		10. その他()	
(9)	外出する際の	1. 徒歩 2. 自転車	この設問は、外出の際の移動手段を問う設問で
	移動手段は何	3. バイク	す。高齢者の外出の際の移動手段の実態を把握
	ですか(いく	4. 自動車(自分で運転)	することにより、地域課題(移動手段上の課題)
	つでも)	5. 自動車(人に乗せても	の把握が可能になります。
		らう)	
		6. 電車 7. 路線バス	
		8. 病院や施設のバス	
		9. 車いす	
		10. 電動車いす (カート)	
		11. 歩行器・シルバーカー	
		12. タクシー	
		13. その他()	

問3	食べること	について	
No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(1)	設向内容 身長・体重を教 えてください	() cm () kg	この設問は、低栄養の傾向を問う設問です(身長・体重から算出される BMI(体重(kg)÷ {身長(m)×身長(m)})が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。)低栄養状態を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、体重の減少傾向を把握する「6ヶ月間で2~3kg 以上の体重減少がありましたか」も併せて確認し、2設問ともに該当した場合は、低栄養状態にある高齢者になります。 (この設問1問のみでは、地域の低栄養状態にある高齢者の把握はできませんのでご注意下さい。)低栄養状態にある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目1設問を加えた2設問を
(2)	半年前によって でで はない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	1. はい 2. いいえ	実施してください。 この設問は、口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を問う設問です((1)で「1.はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります)。 口腔機能の低下を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、嚥下機能の低下を把握する「お茶や汁物等でむせることがありますか」、肺炎発症リスクを把握する「口の渇きが気になりますか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。 (この設問1問のみでは、地域の口腔機能が低下している高齢者の把握はできませんのでご注意下さい。)口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目2設問を加えた3設問を実施してください。 (3)は、嚥下機能の低下を把握する設問、(4)は肺
(3)	お余や汗物寺で むせることがあ りますか	1. はい 2. いいえ	(3) は、嚥下機能の低下を把握する設問、(4) は肺炎発症リスクを把握する設問です。必須項目にある設問のうち、咀嚼機能の低下を把握する「半年前に比べて

(4)	ロの渇きが気 になりますか	1. はい 2. いいえ	固いものが食べにくくなりましたか」も併せて確認し、 3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低
			下している高齢者になります。
			口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握する
			ことは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際
			に活用することが可能になります。
(5)	歯磨き(人にや	1. はい	この設問は、口腔ケアに問う設問です。日常の口腔ケア
	ってもらう場	2. いいえ	の状況を把握することにより口腔に関する地域課題の
	合も含む)を毎		把握が可能になります。
	日しています		
	か		
(6)	歯の数と入れ	1. 自分の歯は	この設問は、義歯の有無と歯数を問う設問です。高齢者
	歯の利用状況	20 本以上、	の口腔の健康状態や義歯の使用状況の把握により、地
	をお教えくだ	かつ入れ歯	域の歯科医療や口腔機能の向上に関するニーズの把握
	さい(成人の歯	を利用	の参考になります。
	の総本数は、親	2. 自分の歯は	
	知らずを含め	20 本以上、	
	て 32 本です。)	入れ歯の利用ない	
		用なし 3. 自分の歯は	
		3. 日分の圏は 19 本以下、	
		かつ入れ歯	
		を利用	
		4. 自分の歯は	
		19 本以下、	
		入れ歯の利	
		用なし	
(6)	①噛み合わせ	1. はい	この設問は、咬合状態・義歯の管理を問う設問です。咀
(- /	は良いですか	2. いいえ	「
			に関する地域課題の把握が可能になります。
(6)	②【(6)で「1.	1. はい	
	自分の歯は 20 本	2. いいえ	
	以上、かつ入れ歯		
	を利用」「3.自分		
	の歯は 19 本以		
	下、かつ入れ歯を		
	利用」の方のみ】		
	毎日入れ歯の手		
	入れをしていま		
	すか		

(7)	6 か月間で 2	1. はい	この設問は、低栄養の傾向を問う設問です。低栄養の傾
	~3 kg 以上の	2. いいえ	向のある高齢者の地域分布を把握することは、事業の
	体重減少があ		対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用すること
	りましたか		が可能になります。
(8)	どなたかと食	1. 毎日ある	この設問は、孤食の状況を問う設問です。閉じこもり傾
	事をともにす	2. 週に何度か	向と孤食の関係性を把握することで、地域課題(閉じこ
	る機会はあり	ある	もり傾向の原因)の把握が可能になります。
	ますか	3. 月に何度か	
		ある	
		4. 年に何度か	
		ある	
		5. ほとんどな	
		V	

問 4	毎日の生	三活について	
No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	この設問は、認知機能の低下を問う設問です((1)で「1.はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります)。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。
(2)	自分で電話番号 を調べて、と をかけること していますか 今日が何月何日 かわからますか	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	この設問は、認知機能の低下を問う設問です。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。
(4)	バスや電車を 使って 1 人で 外出していま すか(自家用車 でも可)	 できるし、している できるけどしていない できない 	この設問は、IADL の低下を問う設問です。IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。
(5)	自分で食品・日 用品の買物を していますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	
(6)	自分で食事の 用意をしてい ますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	
(7)	自分で請求書 の支払いをし ていますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	
(8)	自分で預貯金の出し入れを	 できるし、している できるけどしていない 	

この設問は、老研式活動能力指標に基づ

く知的能動性の低下を問う設問です。本

していますか

年金などの書類

(役所や病院な

どに出す書類)

が書けますか

(9)

3. できない

1. はい

2. いいえ

(10)	新聞を読んで	1. はい		地域・実施内容の検討の際に活用するこ
	いますか	2. いいえ		とが可能になります。
(11)	本や雑誌を読	1. はい		
	んでいますか	2. いいえ		
(12)	健康について	1. はい		
	の記事や番組	2. いいえ		
	に関心があり			
	ますか			
(13)	友人の家を訪	1. はい		この設問は、他者との関わりについて問
	ねていますか	2. いいえ		う設問です。地域課題(他者との関わり
(14)	家族や友人の相	1. はい		の低さ)の把握が可能となります。
	談にのっていま	2. いいえ		
	すか			
(15)	病人を見舞う	1. はい		
	ことができま	2. いいえ		
	すか			
(16)	若い人に自分	1. はい		
	から話しかけ	2. いいえ		
	ることがあり			
	ますか			
(17)	趣味はありま	1. 趣味あり→		この設問は、趣味・生きがいを問う設問
	すか	()	です。本項目と社会参加の関係性を把握
		2. 思いつかない		することにより、社会参加する高齢者の
(18)	生きがいはあ	1. 生きがいあり→		傾向の把握が可能になります。
	りますか	()	
		2. 思いつかない		

問5	地域での活動について				
No.	設問内容	選択肢	設問の意図		
(1)	以下のような会・グループ等に	1. 週4回以上	この設問は、社会参加活動を問う		
	どのくらいの頻度で参加して	2. 週2~3回	設問です。		
	いますか。	3. 週1回			
	① ボランティアのグループ	4. 月1~3回	⑤の赤字部分には、調査を実施す		
	② スポーツ関係のグループや	5. 年に数回	る市町村が推進している介護予防		
	クラブ	6. 参加していない	のための通いの場等について、調		
	③ 趣味関係のグループ		査対象者が回答しやすいよう、各		
	④ 学習・教養サークル		市町村が使っている名称を入れて		
	⑤ ([介護予防のための通い		調査します。		
	の場等について各市町村が				
	使っている名称(通いの場				
	が何種類かある場合は列挙				
	する) を入れる] など) 介護				
	予防のための通いの場				
	⑥ 老人クラブ				
	⑦ 町内会・自治会				
	⑧ 収入のある仕事				
(2)	地域住民の有志によって、健康	1. 是非参加したい	この設問は、地域づくりへの参加		
	づくり活動や趣味等のグルー		意向を問う設問です。地域づくり		
	プ活動を行って、いきいきした	3. 参加したくない	に対して「参加者として」「企画・		
	地域づくりを進めるとしたら、	4. 既に参加している	運営(お世話役として)」の両方の		
	あなたはその活動に参加者と		立場における参加の意向を把握す		
	して参加してみたいと思いま		ることが可能になります。		
	すか。				
(3)	地域住民の有志によって、健康	1. 是非参加したい			
	づくり活動や趣味等のグルー	2. 参加してもよい			
	プ活動を行って、いきいきした	3. 参加したくない			
	地域づくりを進めるとしたら、	4. 既に参加している			
	あなたはその活動に企画・運営				
	(お世話役) として参加してみ				
	たいと思いますか。				

問6	就労について		
No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(1)	現在のあなたの 就労状態はどれ ですか(いくつ でも)	 職に就いたことがない 引退した 常勤 非常勤 自営業 求職中 	この設問は、就労状況を問う設問です。
(1)	①【(1)において「2.引退した」の方のみ】あなたはいつ引退しましたか	7. その他 1. 昭和 () 年 2. 平成 () 年 3. 令和 () 年	

問7 たすけあいについて 設問内容 選択肢 設問の意図 No. (1) あなたの心配事や 1. 配偶者 この設問は、たすけあいの状 愚痴(ぐち)を聞い 2. 同居の子ども 況を把握する設問です。たす てくれる人(いく 3. 別居の子ども けあいの状況と関係性があ 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 る、その地域のうつ傾向の発 つでも) 5. 近隣 生状況を、間接的に把握する 6. 友人 ことが可能になります。 7. その他() 8. そのような人はいない (2) 反対に、あなたが 1. 配偶者 心配事や愚痴(ぐ 2. 同居の子ども ち)を聞いてあげ 3. 別居の子ども る人(いくつでも) 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない (3) 1. 配偶者 あなたが病気で数 2. 同居の子ども 日間寝込んだとき に、看病や世話を 3. 別居の子ども してくれる人 (い | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 くつでも) 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない (4) 反対に、看病や世 1. 配偶者 2. 同居の子ども 話をしてあげる人 (いくつでも) 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣6. 友人

7. その他(

8. そのような人はいない

(5)	家族や友人・知人以	1. 自治会・町内会・老人クラブ	この設問は、地域の相談経路
(5)			
	外で、何かあったと	2. 社会福祉協議会・民生委員	を問う設問です。地域の相談
	きに相談する相手	3. ケアマネジャー	窓口の活用状況を把握するこ
	を教えてください	4. 医師・歯科医師・看護師	とが可能となります。
	(いくつでも)	5. 地域包括支援センター・役所・役	
		場	
		6. その他	
		7. そのような人はいない	
(6)	友人・知人と会う頻	1. 毎日ある	この設問は、友人関係を問う
	度はどれくらいで	2. 週に何度かある	設問です。事業を展開したこ
	すか。	3. 月に何度かある	とにより、地域でのつながり
		4. 年に何度かある	がどの程度増えたかをモニタ
		5. ほとんどない	リングすることが可能となり
(7)	この1か月間、何人	1.0人(いない)	ます。
	の友人・知人と会い	2. 1~2人	
	ましたか。同じ人に	3.3~5人	
	は何度会っても1	4.6~9人	
	人と数えることと	5.10人以上	
	します。		
(8)	よく会う友人・知人	1. 近所・同じ地域の人	
	はどんな関係の人	2. 幼なじみ	
	ですか。(いくつで	3. 学生時代の友人	
	も)	4. 仕事での同僚・元同僚	
		5. 趣味や関心が同じ友人	
		6. ボランティア等の活動での友人	
		7. その他	
		8. いない	

問8	健康について			
No.	設問内容	選択肢	設問の意図	
(1)	現在のあなたの健康	1. とてもよい	この設問は、主観的健康感	
	状態はいかがですか	2. まあよい	を問う設問です。要介護状	
		3. あまりよくない	態になる前の高齢者の主観	
		4. よくない	的健康感を把握すること	
			で、地域の健康度のアウト	
			カム指標として活用するこ	
			とが可能になります。	
(2)	あなたは、現在どの	とてもとても	この設問は、主観的幸福感	
	程度幸せですか(「と	不幸 幸せ	を問う設問です。うつ傾向	
	ても不幸」を0点、	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	との関係性も想定される、	
	「とても幸せ」を 10	点 点	要介護状態になる前の高齢	
	点として、ご記入く	M	者の主観的幸福感を把握す	
	ださい)		ることで、地域の(精神面で	
			の)健康度のアウトカム指	
			標として活用することが可	
			能になります。	
(3)	この1か月間、気分	1. はい	この設問は、うつ傾向を問	
	が沈んだり、ゆうう	2. いいえ	う設問です((3)(4)でい	
	つな気持ちになった		ずれか1つでも「1. はい」	
	りすることがありま		に該当する選択肢が回答さ	
	したか		れた場合は、うつ傾向の高	
(4)	この1か月間、どう	1. はい	齢者になります)。うつ傾向	
	しても物事に対して	2. いいえ	の高齢者の地域分布を把握	
	興味がわかない、あ		することで、事業の対象者・	
	るいは心から楽しめ		対象地域・実施内容の検討	
	ない感じがよくあり		の際に活用することが可能	
	ましたか		になります。	
(5)	お酒は飲みますか	1. ほぼ毎日飲む	この設問は、飲酒の習慣を	
		2. 時々飲む	問う設問です。高齢者の健	
		3. ほとんど飲まない	康寿命に影響を与えると考	
		4. もともと飲まない	えられる本項目と他項目の	
			関係性を把握することによ	
			り、地域の高齢者の特性把	

握が可能になります。

(6)	タバコは吸っていま	1. ほぼ毎日吸っている	この設問は、タバコの習慣
	すか	2. 時々吸っている	を問う設問です。高齢者の
		3. 吸っていたがやめた	健康寿命に影響を与えると
		4. もともと吸っていない	考えられる本項目と他項目
			との関係性を把握すること
			で、地域の高齢者の特性把
			握が可能になります。
(7)	現在治療中、または	1. ない	この設問は、現在治療中の
	後遺症のある病気は	2. 高血圧	病気等を問う設問です。認
	ありますか(いくつ	3. 脳卒中(脳出血·脳梗塞等)	定を受けていない高齢者の
	でも)	4. 心臓病	既往を把握することで、要
		5. 糖尿病	介護状態になる原因等の地
		6. 高脂血症(脂質異常)	域課題の把握が可能になり
		7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	ます。
		8.胃腸・肝臓・胆のうの病気	
		9. 腎臓・前立腺の病気	
		10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症	
		等)	
		11. 外傷(転倒・骨折等)	
		12. がん (悪性新生物)	
		13. 血液・免疫の病気	
		14. うつ病	
		15. 認知症(アルツハイマー病等)	
		16. パーキンソン病	
		17. 目の病気	
		18. 耳の病気	
		19. その他()	

問9	認知症に	認知症にかかる相談窓口の把握について		
No.	設問内容	選択肢	設問の意図	
(1)	認知症の症状	1. はい	この設問は、家族を含め認	
	がある又は家	2. いいえ	知症の有無を問う設問で	
	族に認知症の		す。認知症施策推進基本計	
	症状がある人		画において、認知症の人や	
	がいますか		家族等が必要な社会的支	
			援につながることができ	
			るように、相談体制を整備	
			し、地域づくりを推進して	
			いくことが求められてお	
			り、その目標となる相談窓	
			口の認知度について、関係	
			者(認知症当事者本人及び	
			家族) と住民 (本人及び家	
			族以外)の属性の把握が可	
			能となります。	
(2)	認知症に関す	1. はい	この設問は、認知症に関す	
	る相談窓口を	2. いいえ	る相談窓口の認知度を把	
	知っています		握するための設問です。認	
	か		知症に関する相談窓口の	
			認知度を把握し、周知の必	
			要性等の課題の把握が可	
			能となります。	